

県指定重要文化財<彫刻>

もくぞうそうぎょうだんしんざぞう 木造僧形男神坐像

指定日 昭和38年4月25日

所在地 菊池市隈府 菊池神社



本像は第14代武士の僧形坐像と伝えられ、坐高51cm、膝幅41cm、桧造りで、顔面前部、両手両側面と胸部は別木をはぎ合わせてある。

本像はもと北宮阿蘇神社にあったが、明治3年に菊池神社が創建されたとき、同社に移されたものである。像の底部に墨書銘がある。「大願主 肥後守藤原朝臣武朝 願主 宇治氏女慈俊 応永□□□□」(応永の下は不明) 北宮阿蘇神社の男女神像と同筆跡であることから、応永10年6月1日の作と思われる。大願主は菊池武朝、願主は阿蘇家から菊池氏に嫁いだ武朝夫人の慈俊であろう(応永10年は1403年)。

北宮の男神像と全体のつり合い、顔形はかわらないが、やや大形で、衲衣の上に袈裟をつけ、右手を胸前に上げ、何かを持つ形であるが、持物は失われている。